

Librarian Newsletter

nature publishing group 

November, 2015

第17回図書館総合展 NPGフォーラム

2015年11月12日、第17回図書館総合展にて、NPGフォーラム「**オープンサイエンスの動向と研究データ公開の推進における出版社の取り組み**」を開催いたしました。定員の80名を超えるお申し込みをいただき、講演者ともども感謝しております。ご来場の皆様に、心よりお礼申し上げます。

当講演のプレゼンテーション資料 PDF は以下よりダウンロードいただけます。

www.natureasia.com/ja-jp/libraries/events/library-fair-2015

- ★ 講演者の紹介欄に各講演資料PDFダウンロードリンクがあります。
- ★ 講演当日にご紹介した画像イメージの一部は、著作権の都合上PDFに含まれておりません。その旨、ご了承ください。

フォーラムのアンケートにご参加いただいた皆様に、「オープンアクセスジャーナルやオープンサイエンスの情報入手方法」をご質問したところ、32%の方が出版社のSNS情報やメルマガサービスをご利用されており、37%の方が「情報を入手したいが、方法が分からず困っている」といった結果が得られました。

出版社のFacebook, Twitter、もしくはメルマガに登録	32%
所属機関の研究者や先生が、学会、講演会、セミナーで入手した情報を図書館と共有	8%
オープンアクセスの情報誌、ウェブサイト、SNSを利用	12%
その他の方法（図書館員仲間のSNSによる情報交換、公的学術情報研究機関のウェブサイト情報、出版社や書店の営業担当からのお知らせ）	11%
情報を入手したいが、方法が分からず困っている	37%

- ★ 当ニュースレターの Page3 に「NPG オープンリサーチ ポータルサイトのご案内」と「オープンアクセス メルマガ（英語）のご登録方法」を再掲載させていただきました。また、弊社刊行タイトルの注目のコンテンツをお知らせする日本語メルマガジンは、以下サイトよりご登録いただけます。ぜひ今後の情報収集にご活用ください。

www.natureasia.com/secure/ja-jp/register/

NPG Librarian Newsletter 2015年11月号 目次:

第17回図書館総合展 NPG オープンサイエンスフォーラムのご報告	Page 1
プレスリリース: NATURE.COMに掲載された2015年研究論文の60%超はオープンアクセス	Page 2
NPG オープンリサーチポータルサイトと英文メルマガのご案内	Page 3
注目のコンテンツ: 臨床系 <i>Nature Reviews</i> 10周年記念特集eBook 「 <i>A Decade in Medicine</i> 」 無料公開のお知らせ	Page 4
<i>Nature Reviews Disease Primers</i> 編集長著プロダクトレビュー無料公開のお知らせ	Page 5
スポットライト: <i>The Journal of Antibiotics</i> 編集長著 「大村智博士の2015年ノーベル医学生理学賞受賞を祝う」	Page 6

nature ダイジェスト

2015年11月号
(Vol. 12 No.11)

エボラの次なる
新興感染症に備える

★11月号の主な記事★

- 日本の原発、再稼働
- 脳の小断片の3D画像化に成功
- 磁石にならない金属が磁石に！
- 死線を越えると遺伝的多様性が高まる
- 「プログラム合成」で、究極の構造多様性を征服する
- ダニ媒介性感染症をめぐる問題

Nature ダイジェスト法人購読はプリント版、オンライン(PDF)版でのお申し込みが可能です。法人購読についてのお問い合わせは、最寄りの購読代理店、もしくは弊社セールス担当 (sl_sales@nature.com) までご連絡ください。



NPG プレスリリース NATURE.COMに掲載された2015年研究論文の60%超はオープンアクセス

2015年10月20日

ネイチャー・パブリッシング・グループは研究論文の63%をオープンアクセスモデルで出版、著者の96%がCC BYを選択

ネイチャー・パブリッシング・グループ（NPG）では、オープンアクセス（OA）出版の勢いが増しており、今日までに **nature.com** で発表された2015年の原著論文の63%（約10,000万本）がOAとなりました。NPGがグループ初となる完全OAジャーナルを創刊したのは10年前ですが、今では80誌を超えるジャーナルに対してOA出版のオプションを提供しています。

2015年1月に、NPGが保有する20誌以上の完全OAジャーナルで、クリエイティブ・コモンズ表示ライセンス（CC BY）を標準としました。NPGが出版するジャーナル全般にわたって、CC BYを選択する著者の割合は劇的に高まっており、2014年の26%という数字が2015年9月には96%となりました。なお、著者の方は、要望に応じてその他のライセンス形態も選択いただけます。

2015年10月19日～25日に開催された今年のグローバル・オープンアクセスウィークは、シュプリンガー・ネイチャーの一部となったNPGが、*Nature Communications* の完全OAジャーナル化を発表してから、ちょうど1年になります。

シュプリンガー・ネイチャーでオープンリサーチ部門のマネージングディレクターを務めるSam Burridgeは、次のように語っています。「長年存続している科学出版社の中でOAのコンテンツの割合が60%という大きな数字を超えた出版社は我々が初めてでしょう。我々は、1年前に *Nature Communications* を完全OA化したことで最高品質のオープンリサーチを出版する本拠を築きました。オープンリサーチ分野で大胆な一歩を踏み出し、革新的な展開を推し進める意思表示をしたわけです。そして我々は今も、論文著者に対し、より自由度の高いライセンスの選択を推奨し続けています」。

「我々のポートフォリオをBioMed CentralやSpringer Open、Springer Plusと結び付けることで、シュプリンガー・ネイチャーはOA論文の最大手出版社となりました。しかし、我々が望むのは、単に規模だけではありません。卓越したOA著者サービスを提供する主導的役割を果たすことです。また、オープンデータを含め『オープンリサーチ』を優先事項としているのは、イノベーション面で研究界をリードしたいと考えているからです。我々が目指すのは、現在世界が直面している課題解決のために、協力的で学際的な研究を促進するオープンアプローチが生み出す、多大で前向きな知力を広げることです」。

Nature Communications は、昨年ますます進化を遂げました。*Nature Communications* は今では総合科学分野* をリードするOA誌となり、Journal Citation Report で *Nature*、*Science* に次ぐ第3位となりました。また、ある研究では *Nature Communications* で発表されたOA論文が、より多く閲読および引用されていることが明らかにされています**。*Nature Communications* への1か月間の投稿数は、2014年には1,600件でしたが2015年には2,000件へと増えました。

NPGは、*Nature Communications* のOA転換の最新ステップとして、アーカイブを含めた全ての有料購読コンテンツを、2016年1月から無料でアクセスできるようにします。2016年に *Nature Communications* で発表されるコンテンツは、CC BYを標準ライセンスとした完全オープンアクセスとなります。

2015年10月19日、NPGは上海の同済大学とのパートナーシップによる新OAジャーナル *npj Pollution Control* の創刊を発表しました。このジャーナルが目指すのは、環境汚染の防止、管理、監視および軽減を含む環境科学・工学の広範な分野における独創的な質の高い研究成果や画期的発見を発表し、複数研究分野にまたがり、世界的課題に対処することです。

NPGは、オープンアクセスウィークに実施された、米国、英国、中国、オーストラリアなど世界中の論文著者や図書館員、キャリア初期の若手研究者が関わる数多くのイベントに関与しています。そのリストは、以下のページで確認できます。

<http://www.nature.com/openresearch/publishing-with-npg/nature-journals/>

以上

* 2014 Journal Citation Reports, Science Edition (Thomson Reuters, 2015)

** Scientometrics で発表された研究で、*Nature Communications* のOA論文の被引用回数は、非OA論文の被引用回数よりも多いことが明らかにされました。また、非OA論文が注目を集める期間が短いのに対し、OA論文は、ダウンロード総数が多いだけでなく継続的に長期間にわたってダウンロードされていることも明らかとなっています。これは、*Nature Communications* に発表されたResearch Information Networkによる研究を裏付けるもので、この研究では、OA論文が非OA論文と比較して3倍閲読されていることが示されています。

NPGから出版している全てのOAジャーナルは以下のウェブページからご覧いただけます。

www.nature.com/openresearch/publishing-with-npg/nature-journals/

詳細は、次の担当者までお問い合わせください。

新谷 洋子 (オープンリサーチ・マーケティング・マネージャー、ネイチャー・パブリッシング・グループ)

E : y.shintani@nature.com

※ 本プレスリリースの原本は英語であり、日本語は参考翻訳です。

NPG オープンリサーチ ポータルサイトのご案内



オープンアクセスモデルとオープンリサーチポリシーは、ネイチャー・パブリッシング・グループ (NPG) のビジネス展開の中心となっています。この度、弊社日本語サイト Natureasia.com にNPG オープンリサーチポータルサイト (日本語版) が開設されました。

Open Research: <http://www.natureasia.com/ja-jp/openresearch>

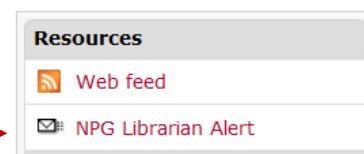
- ◆ オープンアクセスの定義
- ◆ オープンリサーチへの取り組み
- ◆ オープンアクセスに関するプレスリリース
- ◆ 機関向け情報
- ◆ 弊社オープンリサーチ ジャーナル一覧
- ◆ お勧めのオープンアクセスコンテンツ

NPGとPalgrave Macmillanは、著者や助成機関に対して、オープンアクセスで出版する選択肢をすべての出版形式 (雑誌、書籍) において提供しています。NPGは、オープンアクセスの先のopen scienceの拡大と、データサービス、コラボツール、一般からのアクセスのしやすさ、再利用による透明性の高いオープンな科学コミュニケーションの促進に、焦点を当てています。

NPG Librarian Alert (英語版) では、オープンアクセス・イニシアチブや更新などの最新情報をメールでお届けしています。

【オープンアクセス メルマガ (英語) の登録方法】

1. NPG Librarian Gateway英語版 (<http://www.nature.com/libraries>) の画面右手にある「Resources」欄から、NPG Librarian Alertをクリック。
2. メルマガ登録の際に「Field(s) of interest:」リストで、興味のある分野と、「Open Access」をご選択ください。



注目のコンテンツ

nature REVIEWS



www.nature.com/reviews/collection/adecadeinmedicine

nature
REVIEWS
November 2015

**A DECADE IN
MEDICINE**



臨床系 *Nature Reviews* のうち4誌が 2015年11月に創刊10周年を迎えました！

この重要な節目を記念して、臨床系 *Nature Reviews* 8 誌の10年間を振り返る、特別記念 eBook『**A Decade in Medicine**』を公開致します。

2004年 11月に創刊の4誌

Nature Reviews Cardiology
Nature Reviews Clinical Oncology
Nature Reviews Gastroenterology & Hepatology
Nature Reviews Urology

2005年11月に創刊の4誌

Nature Reviews Endocrinology
Nature Reviews Nephrology
Nature Reviews Neurology
Nature Reviews Rheumatology

A Decade in Medicine は、これら8専門分野の著名な臨床研究者が、それぞれの分野における2004年から2015年間の最も重要な発展をハイライトし、将来的な展望についても記述をした、47論文の特別コレクションです。NPGサイトライセンスをご利用の法人のお客様は、無料ダウンロードで閲覧いただけます。

A Decade in Medicine ダウンロードURL

www.nature.com/nrneph/journal/v11/n11/pdf/adecadeinmedicine-nov2015.pdf

※ NPGサイトライセンス未購読の法人のお客様、および個人のお客様は、ダウンロードの際にNature.comのユーザー登録が必要となります。（登録無料）

★ ぜひ、貴機関の研究者や学生の皆様に、**A Decade in Medicine** 無料公開の情報をお伝えください。

+ * + *

★ *Nature Reviews* の購読に関するお問い合わせは、弊社セールス担当（sl_sales@nature.com）までご連絡ください。

★ *Nature* 関連誌のコンテンツ情報を、日本語のメルマガで配信しています。ぜひ登録ください。

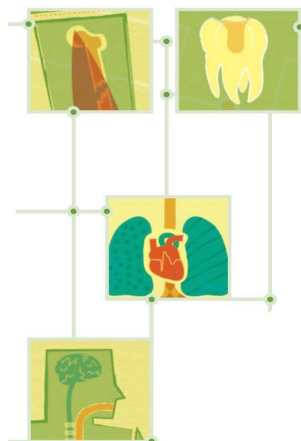
www.natureasia.com/secure/ja-jp/register/

Nature Reviews Disease Primers 編集者によるプロダクトレビュー

nature
REVIEWS

**DISEASE
PRIMERS**

www.nature.com/nrdp



2015年7月に刊行された薬学図書館協議会季刊誌、『薬学図書館 Vol.60 no.3』に掲載された、*Nature Reviews Disease Primers* のプロダクトレビュー「トランスレーショナルリサーチにフォーカスした学際的生物医学ジャーナル」が、このたび natureasia.com で無料公開されることになりました。

Nature Reviews Disease Primers プロダクトレビュー公開サイト

www.natureasia.com/ja-jp/nrdp/about/productreview

本誌の編集長であるミーナ・ラザック（Mina Razzak）および、*Nature* 関連誌の出版ディレクターである、ジェームス・ブッチャー（James Butcher）が寄稿させていただきました。大変にユニークな本誌と既存の *Nature Reviews* 誌の違い、本誌におけるPrimerの定義、Primerの構成と内容、実際の教育現場におけるPrimerの使用経験、Prime View ポスターのサンプルなど、*Nature Reviews Disease Primers* 購読に興味をもつ研究者・教育者への答えが、わかりやすく著述されています。ご購入検討の参考に、ぜひご一読ください。

★ www.natureasia.com/ja-jp/nrdp/ では、毎月日本語で最新のPrimerのご紹介を掲載しています。

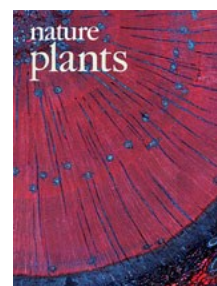
今月の **nature plants**

11月号カバーストーリー「年輪の形成」

針葉樹の材は、主として細胞壁の厚い「仮道管」という細胞で構成されている。形成層で生じた新しい仮道管は大きくなり（数日内）、それから木化した厚い二次壁を形成する（赤く染色）。木の幹のサイズ拡大とバイオマス増加との大きなタイムラグは、これが原因となっている。

その他のコンテンツ：

- * 文学における植物
- * 樹木の生理学：樹木の炭素固定を追跡
- * 分子生態学：防御と引き替えの生育
- * 植物科学と食料安全保障上の課題、など。



**2015年11月号
Vol1 Issue 10**

Volume: 1 (12 issues per year)
ISSN (online) 2055-0278
Date established: 2015

www.nature.com/nplants

★ **Nature Reviews Disease Primers** および **Nature Plants** の無料トライアルと購読に関するお問い合わせは、弊社セールス担当（sl_sales@nature.com）までご連絡ください。

スポットライト: *Journal of Antibiotics*

NPGが刊行する *The Journal of Antibiotics* は、公益財団法人日本感染症医薬品協会（JARA）の英文機関誌かつ日本放線菌学会（SAJ）のオフィシャルジャーナルとして、抗生物質と生理活性を有する微生物生産物のあらゆる側面に関する論文を出版しています。



大村智博士の2015年ノーベル医学
生理学賞受賞を祝う

www.nature.com/ja

The Journal of Antibiotics (JA) の前編集長、北里大学特別栄誉教授の大村智氏がノーベル医学・生理学賞を受賞されました。大村氏は1974 年より編集委員として本誌の運営に携わり、2004 年からは編集長（Editor-in-Chief）に就任し、JA の発展と国際化に貢献されました。2009 年、NPG との出版提携を開始した際に刷新された現在の表紙には、受賞対象となった寄生虫感染症治療薬イベルメクチン開発のもととなる、エバーメクチンの構造式とそれを生産する放線菌ストレプトミセス・アベルメクチニウスの写真が使われています。大村氏は現在も、名誉編集長

（Emeritus Editor-in-Chief）としてJAの編集活動を見守り、支援されています。また本誌に、著者・共著者として多くの論文を発表しておられ、長いJA の歴史の中で“最も多くの論文を出版した著者” というタイトルの保持者でもあります。大村氏の受賞をお祝いし、JA では近く、これまでの全掲載論文一覧と共に大村氏の業績を振り返る特別記事を作成・公開の予定です。

【 Editorial 】*

2015年10月21日掲載

竜田 邦明 氏（*The Journal of Antibiotics* 編集長）著

大村智博士の2015年ノーベル医学生理学賞受賞を祝う

The Journal of Antibiotics advance online publication 21 October 2015; doi: 10.1038/ja.2015.113

<http://www.natureasia.com/ja-jp/ja/editorial> （* 当記念記事は無料で閲覧いただけます。）

The Journal of Antibiotics 購読のご案内

- ◆ 法人向けサイトライセンス： お見積のご依頼は最寄りの購読代理店、もしくは弊社セールス担当（sl_sales@nature.com）までご連絡ください。
- ◆ 法人向けプリント版： 最寄りの購読代理店にお問い合わせください。

+++++

Librarian Newsletter 11月号（2015年11月25日発行）

ネイチャー・パブリッシング・グループ

マーケティング＆コミュニケーションズ（編集担当：小林 真紀）

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-37 千代田ビル

TEL: +81 (0)3 3267 8757

FAX: +81 (0)3 3267 8752

Email: sl_sales@nature.com

www.natureasia.com/ja-jp/libraries/

nature publishing group 